

えこみゆう

第 10 号

西和賀エコミュージアム事業だより

平成 21 年 6 月 5 日発行

西和賀エコミュージアム 推進事業費補助金

西和賀エコミュージアム推進事業費補助金は、地域の資源を活用して経済的な成果につながるような活動や、埋もれた資源の発掘・伝承などの活動をする団体や個人に対して、20万円を限度として支援をするものです。

平成 20 年度は、「特定非営利活動法人（NPO）西和賀文化遺産伝承協会」と、「柳沢地区地域づくり委員会」の 2 団体に交付し、次に紹介する事業に活用されました。

（NPO）西和賀文化遺産伝承協会

保存家屋『川舟の家』と

昔の生活用具調査事業

西和賀文化遺産伝承協会では保存活動をしてきた『川舟の家』の構造や建築材料等の調査と、その中に保存されていた昔の生活用具の調査を実施しました。

『川舟の家』は、明治の中頃に建てられた茅葺屋根の民家です。大きな増改築を行わないまま現在まで残されていた為に、昔からの生活用

具が多く残されていました。

『川舟の家』の活用策を検討することと、どのようにして生活用具を作製したり、使用していたのかを具体的に再現し、保存・伝承していくことを目的としています。

民具について研究をされている岩手大学の名久井文明教授の指導の下、農耕用具や運搬用具などの生活用具を写真に撮り、その名称や使い方の聞き取り調査を行い、裏面写真のような台帳形式にまとめたものです。

使い方はわかりでなく、用具にまつわるエピソードなども紹介され、先人達が様々な工夫を凝らして生活していた様子が伺えます。



保存家屋『川舟の家』 母屋と納屋



『川舟の家』には、まだ多くの生活用具が保存されており、西和賀文化遺産伝承協会では調査を継続し、実際に『川舟の家』やその生活用具を活用したイベント等を企画・実施していきたいとのことでした。



写真左：トウミ（唐箕） 穀物を籾殻等に分ける用具
写真右：イドトリ（糸とり） 繭から糸をとる際に使用

柳沢地区地域づくり委員会

柳沢地区郷土史編纂事業

柳沢地区は、『芳ヶ沢一里塚』といった史

跡もあり歴史と伝統のある地区です。

地区に住む皆さんが自ら地区の歴史や文化を理解し誇りを持つこと、後世に伝えていくことを目的として郷土史を作成しました。また、地区出身者にも配布し、出身地への理解を深め、エターン・Uターンのきっかけ作りとしても活用することとしています。

この郷土史は、『ばっぱアのふところ 柳沢の歴史』と題して、湯田町史などの文献を参考・引用し、地区の成り立ちから紹介されています。

このほか、住民の方から集められた懐かし写真なども数多く掲載されています。



柳沢地区で作成した郷土史

柳沢地区では、平成16年～平成18年に創意と工夫の地域づくり事業」を実施し、公園整備などの地域づくり活動に取り組みできました。さらにこの郷土史編纂事業の取り組みにより、今後の地域づくり活動の発展にも期待をよせています。

平成21年度もこのエコミュージアム推進事業費補助金の対象事業を募集します。補助金の交付を受けたい、または受けたいが補助の該当になる事業であるかなど、お気軽に生涯学習課までお問い合わせください。

参考

- 平成20年度以前に実施した事業
- 庭むしろを織る技術の掘り起こし事業（左草婦人グループ）
- 滝巡り案内パンフレット作成事業（株式会社エステック）
- カタクリまつり推進事業（かたこの会）
- 北のカタゴの里づくり事業（貝沢牧野農業協同組合）
- カタクリの里ガイド養成事業（カタクリの里づくり協議会）